

令和2年11月20日（金）公開
埼玉県立図書館 海外資料担当

多文化サービススタート講座

0. はじめに

現在、埼玉県内在住の外国人は、160カ国、約20万人におよび、今後ますます外国人利用者が増えることが考えられます。全ての人々が不自由なく利用できる図書館を実現するためには、図書館における多文化サービスを充実させることが必要です。

特別な語学能力や予算がなくてもできることはたくさんあります。この講座では、今すぐはじめられる多文化サービスをご紹介します。

1. 多文化サービスとは

図書館の多文化サービスとは、

民族的・言語的・文化的少数者（マイノリティ）を主たる対象とする図書館サービス

* 『多文化サービス入門』（日本図書館協会多文化サービス研究委員会編 日本図書館協会 2004）より

民族的・言語的・文化的少数者（マイノリティ）の例：

在日韓国・朝鮮人や在日中国人、外国人労働者、留学生、日系人、海外で育った日本人、帰化した人など、異なる民族的・言語的・文化的背景を持つ人々

図書館における多文化サービスの二面性

- ① 多様な民族的・言語的・文化的背景を持つマイノリティの、知的自由や情報へのアクセス権などを、母語を中心とした資料・情報の提供によって保障しようとするサービス
- ② 地域のすべての住民が互いの文化や違いを理解し、尊重しあうための資料や情報を提供するサービス
⇒マイノリティが日本語や日本の文化について学ぶための資料や情報の提供
⇒マジョリティである日本人が多文化理解を深めるための資料や情報の提供

2. 多文化サービスのはじめかた

(1) ニーズの把握

統計を分析したり、当事者と話したりして、どのようなニーズがあるか把握します。

⇒埼玉県内の在留外国人数等の統計

<https://www.pref.saitama.lg.jp/bunka/kokusai/toke/index.html>（埼玉県）

http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_touroku.html（法務省）

マイノリティの最も基本的なニーズ

・日本での生活に役立つ情報や資料

- ・日本語を学ぶための情報や資料
 - ・出身国の最新情勢や文化的、歴史的情報
- ⇒民族的・言語的・文化的少数者のニーズは複雑かつ多様であり、同じ民族集団とみなされていても皆が同一とは限らないことに注意が必要

(2) 選定・購入の仕方

① 重点言語や収集方針、選定基準を定めます。

重点言語や収集方針、選定基準は各館によって異なりますが、一例をご紹介します。

【埼玉県立図書館の例】

・重点言語

中国語、韓国語・朝鮮語、ベトナム語、英語、ポルトガル語（5言語）

・外国語資料の収集方針（抜粋）

海外での評価等を踏まえ、英語等による資料を幅広く収集すること

県民の国際理解に資する資料や在県外国人の日本及び日本語学習に役立つ基本的な資料を積極的に収集すること

アジア系等の言語を中心とした資料の収集に配慮すること

・外国語資料の選定基準（抜粋）

外国人が日本を理解し生活するための資料

母国について情報を得るための資料

外国人の方の普段の生活に関わる資料

※在住外国人数や情報ニーズは日々変化することから、作成した収集方針や選定基準は状況に合わせて定期的に見直す必要があります。

② 選定のための情報を集める

外国語資料の選定は、まず情報を収集するところから始まります。

【選定ツールの例】

- ・日本語の新聞（書評など）
- ・外国語雑誌（英語の『Library Journal』・ドイツ語の『Der Spiegel』・中国語の『亜洲週刊』）
- ・書店から頂くリスト（中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、ポルトガル語等）
- ・各国の文学賞の受賞作（ブッカー賞、茅盾文学賞（中国）、李箱文学賞（韓国）、ノーベル賞）
- ・書店に並んでいる翻訳書
- ・書店のウェブサイト（各国の amazon、ベトナムの tiki、中国の豆瓣（Douban））

【おすすめの資料】

- ・日本語学習資料
⇒埼玉県立図書館の資料を取り寄せて選定が可能
- ・very short introduction シリーズ

⇒英語で様々な分野について簡単に紹介しているシリーズ

・日本人作家の翻訳書

⇒利用も多く選定もしやすい

③ 資料（図書）を選定する

本の情報を収集し終えたら、言語別に分け、収集方針や選定基準、自館の状況などをもとにそれぞれ選定を行います。

④ 購入・寄贈依頼する

選定が終わったら、図書を購入します。

⇒外国語資料は言語や国ごとに発注する書店が異なる。

⇒航空便や船便で納品されることが多いため、納品まで一か月以上かかる場合がある。

また、外国語資料の収集には寄贈依頼という方法もあります。

⇒国際交流協会や各市町村等が発行する多言語版の生活ガイドや国際交流情報誌

⇒大使館発行のパンフレット類

⇒出版社や利用者の方から直接資料を寄贈していただける場合もある。

(3) 整理・配架の仕方

整理や配架の方法については様々ですが、一例をご紹介します。

【埼玉県立図書館の例】

・言語別に集中配架

・日本十進分類法（NDC）で分類

・各言語に別置記号を付与（ISO639-2 に基づいた該当言語 3 文字。中国=CHI）

・図書記号（著者の名字もしくはタイトルの先頭 2 文字をとったもの）

・書誌は職員が一から作成

⇒その言語で検索してもヒットするよう、タイトル、著者、出版情報等は対象の言語で入力。また、どれが著者名や出版社名であるかが表紙や奥付から判断できない場合などは、NDL サーチや CiNii、WorldCat、各国の国立図書館の書誌、各国の書店の Web サイト等を参考にしている。

(4) 環境の整え方

① 利用案内や掲示を多言語化する

・まずは、「やさしい日本語」版の利用案内や掲示を作成する。

⇒在住外国人の方は日本語を勉強していることも多く、「やさしいにほんご」であれば読めるという方も少なくない。

・多言語化したくても翻訳のための予算がない場合は、翻訳ボランティアの方に依頼。

⇒多言語への翻訳は担当職員でも難しいため、翻訳ボランティアの方や、庁内の国際化推進担当課に翻訳依頼を行っている。

「やさしい日本語（にほんご）」の つくりかた（埼玉県県民生活部国際課）

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0306/yasashi-nihongo/index.html>

※埼玉県県民生活部国際課では「やさしい日本語」の出前講座なども行っている。

② カウンターでの対応

・「やさしい日本語」でコミュニケーションをはかる。

・「指さしコミュニケーションシート」をつかう。

⇒日本語に不慣れな方とのコミュニケーションを円滑にするために、担当が作成したシート。図書館でよく使う言葉とピクトグラムを組み合わせており、指さしでコミュニケーションが取れる。埼玉県立図書館のホームページから自由にダウンロードすることが可能。<https://www.lib.pref.saitama.jp/collection/mcult/multicultural.html#yubisashi>

現在、中国語、韓国・朝鮮語、英語、ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語の6言語を公開中。

(5) 広報の仕方

より多くの方に利用してもらうため、サービスの実施をPRする必要があります。

- ・ 広報の例：ウェブサイトやツイッターでの情報発信、利用案内や展示リスト等の広報物の作成、配布など
- ・ 広報場所：在住外国人が情報を入手する場所で広報物を配布する。県内の大学や国際交流協会、日本語教室、日本語学校、市役所等に広報物を配布

3. まとめ

日本語に不慣れで、情報を入手することに困難を抱えている、民族的・言語的・文化的少数者（マイノリティ）の方にとっては、図書館で得た一つの情報が生活の大きな支えとなることもあります。「やさしい日本語」での対応等、今日からでもはじめられる多文化サービスは沢山あります。できることから始めてみましょう。

埼玉県立図書館海外資料担当は、市町村立図書館等の多文化サービスを支援します。

多文化サービスを実施するに当たって、困ったことや分からないことがあれば、お気軽にご相談ください。

埼玉県立熊谷図書館 海外資料担当
〒360-0014 埼玉県熊谷市箱田 5-6-1
電話：048-523-6291 FAX：048-523-6468
メール：lib-kaigai@pref.saitama.lg.jp